

| | | | | |
|-----------|--|--|--|---|
| 科目・分野 | 週時間数 | クラス | 担当者 | |
| 理科 | 4 | ABC | 隅田 由香・西村 恵理 | |
| 目 標 | 身近な生物や現象の観察を通して、科学的な見方や考え方を養う。 基礎的な実験・観察の方法を身につける | | | |
| 大切に育てたいもの | 関心・意欲・態度 | 科学的思考力 | 実験観察技能 | 知識・理解 |
| | 自然の事物・現象に関心を持ち、科学的に探求し、人間生活とのかかわりで見ようとする態度 | 自然の事物・現象に問題を見だし、観察・実験を行い、事象や結果を分析して解釈し、表現する力 | 実験器具の使い方やスケッチの仕方など、基礎的な実験操作や観察技能を習得し、過程や結果を的確に記録・整理する力 | <ul style="list-style-type: none"> 化学変化と原子分子 動物の生活と生物の変遷 電気の世界 天気とその変化 についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける |

| 学期 | 考查 | 学 習 内 容 | | 学 習 の ね ら い |
|---------|----|---|--|--|
| 一学期 | 中間 | 1. 化学変化と原子・分子 ・物質のなり立ち | 2. 動物の生活と生物の変遷 ・生物と細胞 | <ul style="list-style-type: none"> 化学変化を原子の結合の変化であることを理解する。 動物と植物の細胞の特徴と違いについて理解する。 |
| | 期末 | <ul style="list-style-type: none"> 物質どうしの化学変化 酸素がかかわる化学変化 | <ul style="list-style-type: none"> 動物のからだのつくりとはたらき 動物の分類 | <ul style="list-style-type: none"> 化学変化を化学反応式で表すことができる。 酸化と還元について理解する。 動物の消化・吸収、循環・排出のしくみについて理解する。 感覚器官と神経、筋肉・骨格のしくみを理解する。 動物の特徴と分類について理解する。 |
| 二学期 | 中間 | <ul style="list-style-type: none"> 化学変化と物質の質量 化学変化とその利用 | <ul style="list-style-type: none"> 生物の変遷と進化 4. 天気とその変化 気象観測と雲のでき方 | <ul style="list-style-type: none"> 質量保存の法則、定比例の法則を理解する。 生活の中での化学反応を知る。 生物の進化とその証拠について理解する。 気象条件と天候の関係について知る。 飽和水蒸気量について理解し、露点と雲のでき方、水の循環について知る。 |
| | 期末 | 3. 電気の世界 ・静電気と電流 | ・前線とまわりの天気の変化 | <ul style="list-style-type: none"> 静電気による現象や電子のはたらきを知る。 前線と天気の変化について理解する。 |
| 三学期 | 期末 | <ul style="list-style-type: none"> 電流の性質 電流と磁界 | ・大気の動きと日本の天気 | <ul style="list-style-type: none"> 大気の変化と季節との関係を理解する。 オームの法則、電力量と発熱量の関係を理解する。 電気回路について理解する。 電流と磁界の関係について理解する。 |
| 評価の方法 | | 定期テスト、小テスト、レポート、実験観察の技能 など | | |
| 学習活動の特徴 | | 簡単な実験や観察を可能な限り多く実施する。 視聴覚機器をできるだけ利用する。 | | |
| 授業の形態 | | 一斉授業・講義・実験・実習など | | |
| 使用教科書 | | 『新しい科学 2年』（東京書籍） | | |
| 使用副教材 | | 『カラーブック理科資料』（東京法令出版）、『理科の自主学習2年』（新学社） 『ニューエンジョイプリント 理科2年』（教育同人社） | | |
| 用意するもの | | 教科書、ノート、資料集、問題集 | | |
| 備考 | | 授業は週2時間ずつに分けて2つの単元を同時進行する。 | | |